

彼方「かなた」

校長通信
H24.10.9
Vol.23

【失敗は成功の途中！】

十月四日（木）の葛南駅伝大会での男子四位、女子七位

という結果は、私たち湖北中のみんなにとって忘れられないものになりました。

本校は、駅伝部だけでなく、いろいろな部から駅伝強化選手を募って、駅伝大会に参加しています。

学校体制で取り組んでいます。一部の活動の大会という位置づけではなく、学校対抗の駅伝に学校代表で臨むという伝統を受け継いで取り組んでいます。

特に東葛駅伝は、野田・松戸間を交通規制し、白バイが先導する中で競技が展開されます。その大会には、学校規模にかかわらずどの学校も十名の選手を送り出すのです。そして、各選手は自分に任された区間を全力で駆け抜けるのです。

本校の選手もこれまで一生懸命取り組んできました。目標は県大会優勝、全国大会入賞でした。ところが緊張と

強風の中、自分の走りができず、残念ながら四位という結果に終わってしまいました。選手は、目標が叶えられず悔し泣きすることになったのです。私も声をかけられないほどの落ち込みぶりでした。

でも、競えば、必ず勝ち負けがついてきます。すべてが思い通りにいくとは限らないし、むしろ現実には、思い通りにならないことの方が圧倒的に多いのかもしれない。

それでも次の目標を持ってみんなで頑張っ取り組むのです。なぜなら、目標に向けてみんなで一生懸命頑張ることが、「みんなで仲良く助け合って生きる」という学びになり、結果もそれなりについてくるからです。

自分の力が発揮されず、思い通りにならないからこそ「次」なのだと思います。「次こそ力を出し切る！」「次こそ目標を達成する！」「次こそ仲間と協力する！」「次こそ……」この再挑戦する気持ちの強さが未来を切り開く原動力になるのです。

思い込みの強さが違うから、跳ね返される時も非常に大きくなるのです。それほど思っていないければ、そんなに望んでいなければ、思い通りにならないくてもどうということはありません。でも、そんな中途半端では、本当の笑顔を作ることにはできないのです。思い通りにならない



からこそ、次に向かうための「今」を振り返り、「こんなに頑張ったのに何がダメなの？」「声かけてなかったな！」「挨拶もできてなかったな！」「仲間の声掛けが少なかったかなー。」とネガティブチェック

をしながら、「よし！明日の練習から声かける！」「ペース走は、絶対に遅れない！前の位置にいる！」「家でストレッチと筋トレ、勉強をする！」などのように明日からできることを具体的にイメージし、練習の雰囲気や練習の中身を変えていかなければなりません。

『ダメな結果の原因を自分の行動レベルまで落とし込んで、自分の言動を具体的に变えていく』この学びこそ学校教育なのです。学校はこうやって失敗（ピンチ）をチャンスに変え、成功を目指す場所なのです。失敗をしない人生なんてありません。失敗を最小限に抑えて成功に変える強さを学んで欲しいと思います。『失敗は成功の途中』です。最終的に上手くいくまでT&E（試行錯誤）すればよいだけです！

駅伝強化練習が真剣な表情で再開しました。「頑張れ！湖北中駅伝強化選手みんな！」

